

## 『フランス文学』執筆要綱

日本フランス語フランス文学会中国・四国支部

1. 使用言語は日本語またはフランス語とする。
2. 原稿は電子ファイルで提出する。字数は注を含めて、原則として、日本語全角文字の場合、15,000字以内、フランス語の場合、30,000字以内とする。  
電子ファイルはMicrosoft Wordに準拠したものとし、書式設定は以下のようにする。用紙サイズはA4版、余白は35mm、下30mm、左右30mm。日本語の文字数は37字、行数は34行。フォントの設定は、日本語本文は明朝、小見出しや強調などはゴシック、フランス語はTimes。サイズは標準12ポイント、論文題目は日本語の場合、14ポイントの明朝標準書体（ボールドは使わない）、フランス語の場合、14ポイントTimesのボールド。執筆者名は12ポイントの明朝標準書体で、姓と名の間にのみ1字分スペースを空ける。日本人の執筆者によるフランス語の場合、執筆者名の日本語表記を（ ）内に付す。
3. 注は脚注・後注のどちらでもよい。本文中には<sup>1)</sup> <sup>2)</sup>のように右肩に上付小字で参照を指示する。この指示が、句読点、コンマ、ピリオドと同時に用いられる場合は、次の順序とする。  
例：……指摘した<sup>1)</sup>。……指摘したが<sup>2)</sup>、……
4. 注や引用は10ポイント。作家、研究者の姓は二つ目以下の文字は大文字で10ポイントとする。  
例：Victor HUGO
5. 欧文作品名、雑誌名はイタリック体とする。和文作品名、雑誌名は『 』で囲む。  
例：Les temps modernes, 『フランス文学』
6. 引用文は、上下を一行分、左を二字分あけて、引用文であることをはっきりさせる。和文の中に改行せずに和文を引用する場合は「 」記号を、欧文を引用する場合は« »記号を用いる。
7. 原稿は完成原稿とする。
8. 執筆者による校正は原則として初校のみとする。
9. 執筆者には抜刷または本誌20部を贈呈する。

## 付則

- ① 2001年12月1日 一部改正。
- ② 2011年11月26日 一部改正。